

WHO ファクトシート

女性と健康

Women and health

2018年9月24日

重要な事実

- 女性と女児の健康は、性関連生物学、ジェンダー及びその他の社会的要因によって影響を受ける。
- 女性は男性より長生きする。2016年、世界の平均寿命は、女性が74.2歳で男性が69.8歳であった。
- しかしながら、女性は、とりわけ性と生殖に関する健康ニーズに関連し、男性よりも多くの疾病罹患を経験し、より多くの保健医療サービスを利用している。
- 非感染性疾患は、世界的に女性の最大の死亡原因であり続けており、2015年で世界での死亡数は1,890万人にのぼる。心血管疾患は女性の死亡のトップ原因である。
- 心血管疾患は女性死亡原因のトップである。がんの中では、子宮頸がん及び乳がんが最も多く、肺がんが死亡原因の1位である。
- うつ病は、男性(3.6%)よりも女性(5.1%)の方がより一般的である。単極性うつ病は女性の方が2倍一般的である。
- 自殺を含む自傷は生涯を通じて起こり、2015年には15~29歳女性の世界の主要死亡原因の2位であった。
- 世界的には、3人に1人の女性はその生涯の中で、身体的、かつ/又は、性的な暴力を経験する可能性が高い。
- 紛争や立ち退き地域の女性や女児は、保健システムの混乱、保健医療ケアへの障壁悪化の結果として、また戦争兵器のようにレイプその他の暴力を使うことの結果として、不均一に苦しんでいる。

- ・毎日、約 830 人の女性が、妊娠と出産に関連する予防可能な原因によって死亡している。
- ・女性、とりわけ 15～24 歳の若い女性が HIV 感染者の大部分を占めている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Women and health

ファクトシート原文は [こちら](#)